

俳優人生の礎 恩師2監督

東三河口ケ秘話も、井浦さんトーク

スロータウン映画祭 豊橋プラットで開幕



デビュー作の秘話を語る井浦さん「プラットで

市民有志が企画運営し、新旧の名作映画を上映する「第24回とよはしまちなかスロータウン映画祭」が18日、豊橋市の「穂の国とよはし芸術劇場プラット」で開幕した。初日恒例のシネマ&トークには俳優の井浦新さん(51)が登場した。約770人を前に、恩師である是枝裕和、若松孝二の両監督との思い出や、東三河でのロケ秘話を情熱的に語った。

【北川吉暉】

井浦さんは、自身の原点であるデビュー作「ワンダフルライフ」(1999年)と、若松監督役を熱演した「止められるか、俺たちを」(2018年)の上映後に登壇した。モデルから俳優へと転身した当時を振り返り、「是枝監督から『会

なった」と語った。

また、12年に急逝した若松監督については「自分を鍛えてくれた育ての親」と敬意を表した。実録映画として自身が若松役を演じた際は「知っている存在だからこそ、当初は演じることに葛藤があった」と吐露。しかし「監督から受け取った言葉は映画の中に閉じ込めたい」という一心で役に挑んだという。

続編となる「青春ジャック 止められるか、俺たちを2」(24年)のロケで訪れた東三河でのエピソードも披露。豊川市

の「日本車輛製造メモリアル車両広場」で80年代の新幹線シーンを撮影したことを振り返り「撮影が終わった直後、宿泊費がないからお前ら帰れと、そのまま豊橋駅に放り出された」と会場を笑わせた。

スロータウン映画祭に対し、井浦さんは「ミニシアターがない地域で、これほど長く映画を愛し続けているのは宝物のようなこと。来年も開催されるのを当たり前だと思わず、皆さんで支えてほしい」と、メッセージを送った。